

学校だより NO. 496

令和8年1月30日



品 濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉
自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人
〈学校教育目標〉
大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子
・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体
・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183
URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

2026年もよろしくお願ひします

2026

副校長 酒井 敏雄

2026 年最初の学校だよりとなります。新年あけましておめでとうございます。新年がスタートし、1 か月が経ちました。子どもたちは、冬の寒さを感じさせないくらい元気に学校生活を送っています。子どもたちの元気な姿を見ると、こちら元気がもらえます。

さて、2026 年は、十二支の「午（うま）」年。うまは、古くから「躍動」「成功」「勝負運」を象徴する干支として知られています。さらに、2026 年は 60 年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年。火の性質を持つ「丙（ひのえ）」と、行動力を象徴する「午（うま）」が重なることで、情熱や勢いが高まり、太陽のようなエネルギーに満ち溢れた一年になると言われています。うま（午）は、長い歴史の中で、人や荷物を運ぶ存在として人々の暮らしを支えてきました。そのことから、午は「人の役に立つ」「家族を守る」「幸せを運ぶ」縁起のよい存在とされています。また、力強くまっすぐしなやかに疾走する姿から、物事が順調に進み努力が実る年と言われることもあります。

そもそも、なぜ「馬」ではなく、「午」と表されるのでしょうか。干支はもともと、年だけではなく時刻や方角を表す方法として使われていました。一日を 12 の刻に分け、「子（ね）の刻（こく）」から順に干支を当てはめると、ちょうど正午（昼 12 時）が「午（うま）の刻（こく）」にあたります。この名残から、12 時を「正午」と呼んだり、お昼の 12 時を境に「午前」「午後」といった言葉が現在でもつかわれたりするようになったそうです。

年が明け、子どもたちは進学や進級に向けて、1 年間のまとめの時期に入っています。4 月に新年度を迎えてから、授業や学校行事を通して大きく成長してきました。これまでに身につけてきた力を存分に生かし、努力を実らせ、大いに躍動していったほしいと思います。学校としましても、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、教職員一同、今年も尽力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、旧年中、学校行事をはじめ様々な教育活動にご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。本年も引き続き、品濃小学校をよろしくお願いいたします。